

# 一 般 質 問

平成23年 6月20日 (月)

15番 村 上 求 議 員

## 1. 北海道特別支援学校及び学び交流センター（花川北3条3丁目）の施設について

- ①現在施設にある駐車場のスペースは30台分しかなく足りていない、その為近隣に路上駐車が  
多く苦情も出ていると伺っております。改善案は考えておりますか。又、考えている場合はいつ  
つまでに改善できるのかをお伺いいたします
- ②現在施設に入り口周辺には外灯が1個のみございますが、舗装もされていなく真っ暗な状況な  
ので利用者からとても歩くのが怖いという声と不審者が現れても対応ができないと伺って  
おります。ではこちらについては対策は考えられているのでしょうか。又、考えている場合はいつ  
つまでに改善できるのかをお伺いいたします

## 2. 本町周辺の観光について

- ①本庁周辺地域におかれましては、未だに知名度が低く観光資源が生かされていないといえます。  
先日3回目となります番屋の湯がオープンいたしました。市民からは今度こそは大丈夫なの  
かと囁かれています。本町地域の活性化を図る上で番屋の湯を含めた施設に対して市もフォロ  
ーアップが必要かと思いますが、どの様にお考えかお伺いいたします

## 3. 石狩市循環バスについて

- ①再三にわたり他の議員の方も申し上げておりますが、交通弱者、お買い物難民など石狩市は利  
便性の悪さにより引き籠もりをおこしその結果、体を壊し医療費の増加に繋がっているように  
思いますが、既存の路線バスやタクシー等と競合しない形でNPO法人化した形で行ってはい  
かがか

## 4. 防災用のサイレンについて

- ①浜益地区の方から何箇所か消防団用のサイレンが撤去されて、津波などの災害時は我々のエリ  
アは誰が速報や警報を教えてくれるのか、取り残されたようで不安であるという声を良く聞き  
ます。今後災害対策の一環でサイレンや高台に避難していただきなどの音声案内が流れるよう  
な災害対策は考えていますか、お伺いいたします
- ②市内には標高の低い場所がたくさんありますが、避難場所の掲示や実際に避難時の高台に階段  
などの設置はしないのですか、そのような災害対策についてお伺いいたします

## 1. 田岡市長の所信について

### ①東日本大震災に関連する対応について

- イ. 3月11日に起こった東日本大震災から3ヵ月が経ちましたが、復興の道のはまだ緒に  
ついたばかりの感があります。震災発生後、当面、急を要する被災地及び被災者に対する  
支援の輪は、民間、自治体を問わず広がってはおりますが、しかしこの先の復旧・復興に  
ついては、オール日本の考えで進めて行かなくてはならないと思います。今後における被  
災地に向けた対応について、どのような対応を考えておられるか伺います
- ロ. この度の震災を受けて、避難されて来た方たちが5月末現在で16世帯、33人居ると聞  
いておりますが、避難者の皆さんの将来を案じ、当面の措置はもちろんのことですが、将  
来に関わる重要な選択や、あるいは決断を考えている方々もいらっしゃるのではないかと  
思います。様々な状況を想定し、罹災された方々の意向など調査されているのか、又、特  
に要望の高い項目として雇用の確保が挙げられますが、これについて何か対応の考えがあ  
るかお尋ねします
- ハ. 転入された罹災者の皆さんに対する、まちの情報や行政諸手続きなど情報が確実に届けら  
れないと、また違う面で不利益を被る可能性があると思います。転入者に対する情報提供  
など親切な対応がされているか伺います

### ②財政運営について

- イ. 平成19年から始まった財政再建計画ですが、いよいよ最終年度を迎え、一定の成果が伺  
えるところまでやってきました。しかし、従前にも指摘している、最終的な目標となる平  
成32年の水準にはまだ程遠く、さらに今般の大震災の影響から、地方財政にも少なから  
ず影響がでてくると予想されます。市長の所信でも触れている財政健全化の取り組みにつ  
いて、一体どのような想定をもって進められるのか、その論理には市民も大変注目してい  
ることからお考えをお聞かせください
- ロ. 目標値の設定は、目指す道しるべとして大変重要です。とりわけ、財政健全化指数につ  
いては大変重要な指数となりますので、中長期に渡る一定の数値目標が必要と考えますが、  
どのくらいの数値水準をにらんでおられるか伺います。なお、その裏づけとなる根拠につ  
いてもお聞かせください

### ③防災公園建設について

- イ. 先日の新聞報道で、防災公園の見直しが書かれていました。石狩湾新港地域はLNGタン  
クが建設されている中、特に防災対策の面で重点的な対応が求められてきます。しかし、  
大震災が起こったその後は、津波の影響も十分に勘案しなければならない事から、この度  
の見直しは賢明と思います。ただ、いずれにしてもエネルギー関連施設の集積地である事  
は紛れもない事実であり、私としては程近い場所に消防機能を有する防災センター的な施  
設の設置は至極妥当と考えております。施設概念の基本的な考えについてお聞かせくだ  
さい
- ロ. 防災公園の建設に対しては、土地購入を含め合併特例債を活用する考え方が示されていま

したが、この起債における負担分の起債償還が及ぼす公債費への影響について一体どの程度の影響が及ぶのか、又、今現在行っている健全化事業と比較した場合の財政的な有効性などについて伺います

#### ④火力発電所建設について

- イ. 市長の所信でも触れている火力発電所の誘致ですが、今現在、企業による確実な情報がないまま、憶測だけが先行しています。以前、東京電力横浜火力発電所を視察した際、LNG発電施設においては、まず二酸化炭素の排出量が化石燃料に比べ低く、又、排煙脱硝装置による煤煙除去効果が優れているなど環境にやさしいことや、安定的な電力供給の面からも極めて重要な施設であると考えます。そこで、今後の対応として、市民理解と併せ誘致活動を進めていかななくてはならないと考えますが、どのように進めようと考えているのかお尋ねいたします
- ロ. なお誘致の戦略についてであります。想定される企業については、企業立地促進条例の適用対象企業と思われませんが、昨年、石狩市グリーンエナジーデータセンター立地促進条例ではデータセンター立地に特化した日本初の条例でした。その効果は自明でありましたが、これと同じようにLNGエネルギー施設に特化した条例なども視野に入れ進められようとしているのでしょうか。又、その際の減免措置として、期間設定や設備投資に係る費用助成などについても想定される範囲でお答えください

#### ⑤地域経済対策について

- イ. 市長は、地域経済の回復を喫緊の課題と捉え、特に商店街への影響をご懸念されております。震災直後の品薄状態は改善されてきているものの、依然として消費の低迷など経営を圧迫する状況が引き続いています。まずは、消費を促す刺激策が必要と考えますが、市として商工会議所などを通じて何か対策を考えておられるのか伺います
- ロ. 本年に開設された「JAいしかり地物市場とれのさと」は、オープン来大変多くの来客があり賑わいを博しています。このような大型の施設ができることによって、集客効果が高まるわけですが、地域商店街の活性化にはこのような集客施設を最大限活用することも場合によっては必要ではないかと考えますが、うまくコーディネートする事も有効ではないか伺います
- ハ. 石狩ブランドのさらなる推進についてですが、ブランド商品になり得る加工品を創造的に開発する人材と、又そのブランド品を流通させる販売ルートの開拓する人や組織が極めて脆弱ではないかと思うが、その確立に向けた取り組みについてお考えをお示しください

**1. 石狩市地域防災計画の見直し**

- ①現状の防災計画をどのような基準で、見直すのか時期も含めて
- ②津波に関するハザードマップの策定の考え方
- ③市民の皆さんの参加と各地区の特性を考慮した計画を定めるとあるが、取り組みについて
- ④市内の各避難所と防災備蓄品の現状について
- ⑤市内公共施設の耐震化の現状について

**2. 学校の耐震化の取り組みと避難所機能の向上について**

- ①現状の学校耐震化の進捗状況について
- ②学校耐震化に関わる文部科学省の基本方針の改正をうけての市としての取り組みについて
- ③学校施設の避難所としての防災機能の向上についての考え方
- ④防災機器として「太陽光発電ポータブル照明器」の避難所への配置について（部局と教育委員会両方の考え方を）

**3. 石狩市内の地デジ放送への対応は万全か**

- ①高齢者世帯への具体的な対応・取り組みについて
- ②石狩市内における難視聴地域の解消はされているのか
- ③生活保護世帯へのチューナーの無償給付はどのように対応されているのか

**4. 石狩湾新港地域の今後の取り組みについて**

- ①新たなデータセンター等関連企業誘致の見通し
- ②東日本大震災後による企業の新港地域への移転などの動きはないか
- ③対ロシア経済交流への具体的な取り組み
- ④北海道電力が発表したLNG火力発電所建設に対する市としての考え方について

**5. 自然エネルギーの利用拡大**

- ①現状の市・市内での自然エネルギーの利用実態について
- ②学校施設・公共施設への太陽光パネル等の設置
- ③「自然エネルギー協議会」に対する市の考えについて
- ④現状における原子力発電所に対しての市長の所見について

1. 所信表明について

- ①向こう4年間の市政執行の基本的な方針が示されたが、以下の事項について所見を問う
  - イ. 歴史的岐路の認識と基礎的自治体のあり方
  - ロ. 震災と新港への戦略的企業誘致について
  - ハ. 財政再建計画に続く財政フレームについて
  - ニ. 少子高齢化社会における高齢者対策について
  - ホ. 地球的規模で要請されている環境対策や自治体の責務となっている一般廃棄物処理対策について
  - ヘ. 「健康づくり計画」におけるガン検診助成について
  - ト. 土地開発公社負債対策と防災公園化問題について

2. 浜益、厚田区の地域活性化策について

- ①地域自治区の設置期限について
- ②両区の自治権限強化と独自の地域活性化事業を支える特別予算の配分について
- ③浜益、厚田における放課後児童対策について
- ④老朽化が著しい市道の補修・改修を総合的な事業計画として合併特例債事業で実施できないか
- ⑤地区防災計画の策定の期限と手順について

3. 福祉利用割引券について

- ①大幅な増額を求めたい

4. 前教育長の不詳事件について

- ①市民目線に立った対応を求めたい